



## 中野 晴啓からのメッセージ

8月初めの国内株急落と円高急進行は、7月末に実行された日銀の利上げがマーケットにとってはネガティブサプライズだったことを主因とした株式市場の過剰反応で、振り返れば日本株にある程度限定された動きだったと言えます。

とは言えこの市場激変によって、日銀のゼロ金利政策→円安→株高という、言わば投機筋に都合良いサイクルは終焉を迎えたわけです。ここから金融政策のベクトルが、日本の利上げ方向と米欧の利下げ方向のコンフリクトを前提とした円安水準の修正、殊に日本のマクロ経済に与える影響を反映して、国内株式市場の価格水準が定まって行くと同時に、円高への是正環境下でも底堅い業績を示す、強い企業の「見える化」が顕著になることでしょう。

短期的な景気動向にも、目先の相場環境にも揺るがず、安定した事業価値拡大を実現して行ける企業がクオリティグロースです。グローバルに定着し恒常化するインフレ前提社会において、インフレ経済を所与として克服し、安定して事業成長機会に出来る強い企業が、これからの株式市場の価格形成を先導して行くはずで、クオリティグロースを標榜する本格アクティブ運用が本領発揮しやすい環境になって来ました。

そこを楽しみにワクワクと、長期投資をご一緒にまいりましょう！

なかのアセットマネジメント株式会社  
代表取締役社長 中野 晴啓

## ポートフォリオマネージャー居林 通より

なかの世界成長ファンド  
ポートフォリオマネージャー  
居林 通

なかの世界成長ファンドは8月上旬の嵐を通り抜けようとしています。

基準価額は大きく下落し1万円を割り込む水準となりましたが、直近では1万円近くまで回復をしています。参考指数であるMSCI ACWIの値動きを見ますと、7月の高値から「ドル建て」で一時、8.3%の下落(8月5日)でしたが、その後9%強の上昇を記録して高値を更新しています。つまり、世界の株式市場はドル建てでは8月の嵐を乗り越えて堅調に推移していると言えます。

一方で、「円建て」で見ると7月の高値から17.6%下落し、その後9.6%上昇しているの、まだ高値回復には至っていません。このドル建てと円建ての差はつまり為替が円高に振れた分ですので、株価は戻ったものの為替が戻っていない、ということになります。

為替は日米の金利差の縮小の影響で円高に振れていると考えますが、米国が利下げ、日本が利上げになったとしても金利差では米国が高い状態が続くと考えます。よって、一方的な円高にはならないとみています。そのため、なかの世界成長ファンドは引きつづき、世界のクオリティの高い成長株に厳選して投資を続けてゆきたいと考えています。

※ コメントの内容は過去の市場環境、運用実績および投資行動であり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではありません。  
※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。

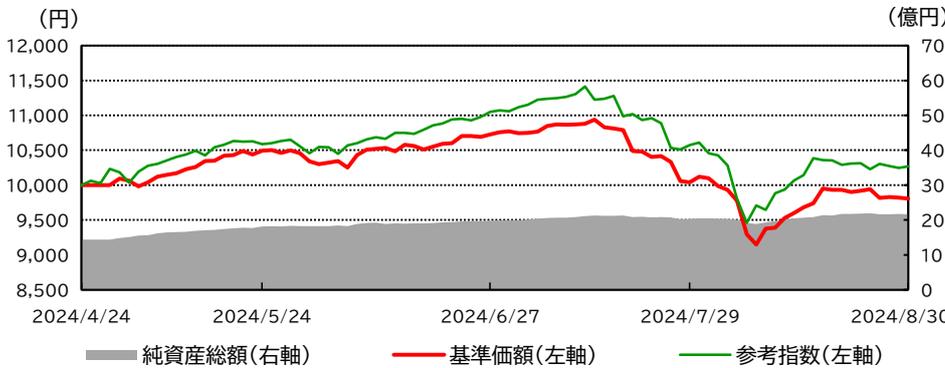
お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

設定・運用は **なかのアセットマネジメント株式会社**  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3406号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会  
ホームページ:<https://nakano-am.co.jp/>



基準価額は8月上旬の世界的な株安と円高の動きを受けて大きく下落したあと、そのあとリバウンドをしている状況です。今回の下落局面では大きく資産配分を変更しませんでした。比較的堅調な新興国への配分をやや増やしました。個別銘柄の動きをみると、今回の下落の前にいくつかのハイテク銘柄の売却が見られました。今後、資金はより長期的な成長が見込まれるヘルスケア分野に流れているように見えます。(居林 通)

## ●基準価額及び純資産総額の推移(2024年8月末現在)



基準価額  
9,806円  
純資産総額  
21億円

※ 基準価額は信託報酬控除後の価額です。  
 ※ 参考指数は「MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み・円換算ベース)」であり、設定日の値を10,000円として計算しています。MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み・ドルベース)をもとに、委託会社で円換算しています。  
 ※ 純資産総額は、単位未滿を切り捨てて表示しています。

## ●騰落率

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
当ファンド	-2.9%	-5.2%	-	-	-	-	-1.9%
参考指数	-1.8%	-1.8%	-	-	-	-	2.7%

※ 基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

## ●資産の組入比率

なかの世界成長マザーファンド	95.3%
現金等	4.7%
合計	100.0%

## ●分配金実績(一万口当たり、税引前)

決算期	-	-	-	設定来合計
分配金	-	-	-	-

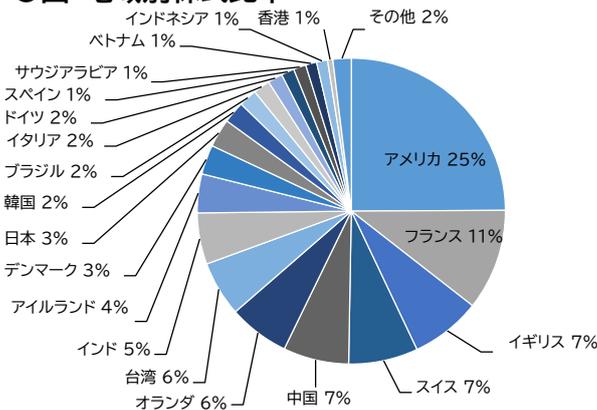
※ 運用状況により分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

## ●基準価額の変動要因(前月末比)

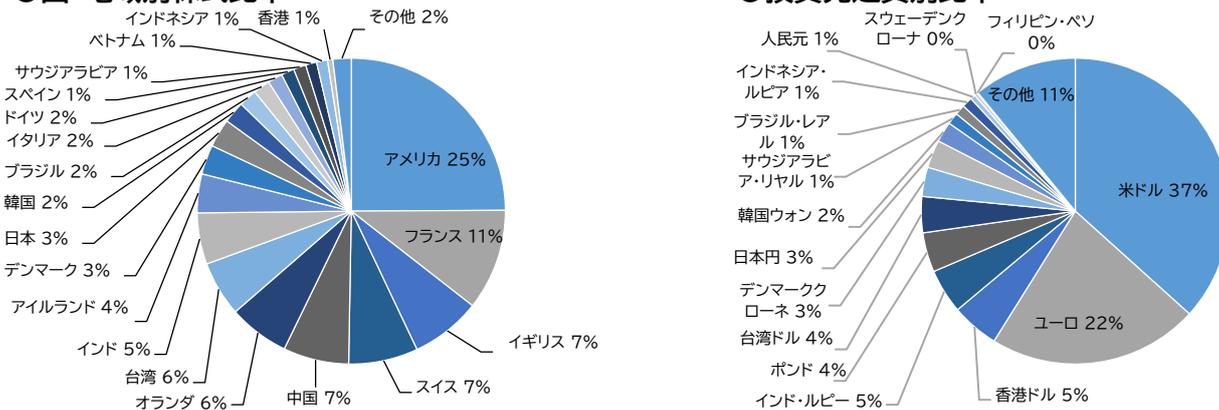
基準価額の変動額	-293円
ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV-グローバル・インパクト・エクイティ・ファンド(クラスS、円建て)	-17円
コムジェスト世界株式ファンド(適格機関投資家限定)	-110円
コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90(適格機関投資家限定)	-44円
アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド(適格機関投資家専用)	-121円
アライアンス・バーンスタイン SICAV-グローバル・グロース・ポートフォリオ	0円
信託報酬・その他	-2円

※ 上記はあくまで概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ※ 項目ごとに円未滿は四捨五入しており、合計が基準価額の変動と一致しない場合があります。

## ●国・地域別株式比率



## ●投資先通貨別比率



※ 「国・地域別株式比率」、「通貨別比率」は2024年7月31日のデータをもとに8月30日現在の投資ウェイトで当社が計算しております。  
 ※ その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。  
 ※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。

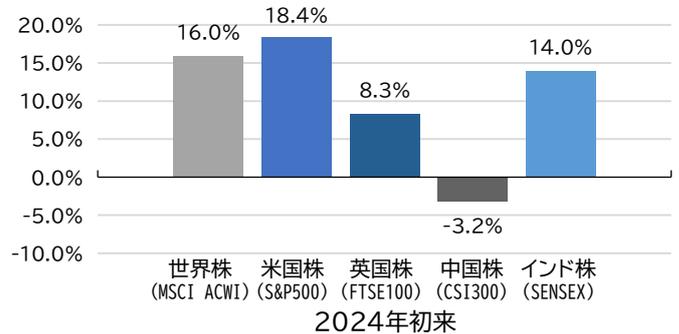
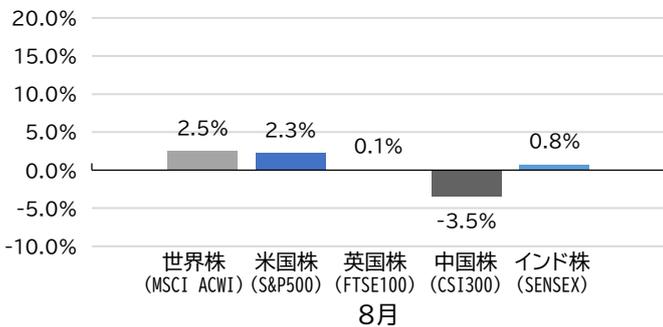


## ●組入ファンドの概要(なかの世界成長マザーファンド)

順位	銘柄名	運用会社	組入比率
		ファンド概要	
1	コムジエスト世界株式ファンド (適格機関投資家限定)	コムジエスト・アセットマネジメント株式会社	33.5%
		世界の企業を対象に徹底したファンダメンタル分析に基づいて、高い利益成長が期待される企業を中心に、集中投資します。	
2	コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド90 (適格機関投資家限定)	コムジエスト・アセットマネジメント株式会社	28.5%
		主としてヨーロッパの企業を対象に、高い利益成長が期待される企業を中心に個別銘柄を選定し、信託財産の成長を目指します。	
3	アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド(適格機関投資家専用)	アライアンス・バーンスタイン株式会社	22.5%
		新興国の企業を中心に投資を行います。景気サイクルによる利益成長ではなく、構造的な成長機会を重視しています。	
4	ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV ーグローバル・インパクト・エクイティ・ファンド(クラスS、円建て)	ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッド	12.5%
		主として海外の社会と環境にプラスになる事業を行い、株価が将来にわたって上昇すると期待される企業に投資するファンドです。	
5	アライアンス・バーンスタイン SICAV ーグローバル・グロース・ポートフォリオ	アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー	1.5%
		主として新興国を含む世界各国の株式等に投資します。長期で優れた利益成長を達成する可能性が高い企業に厳選投資します。	
現金等			1.5%

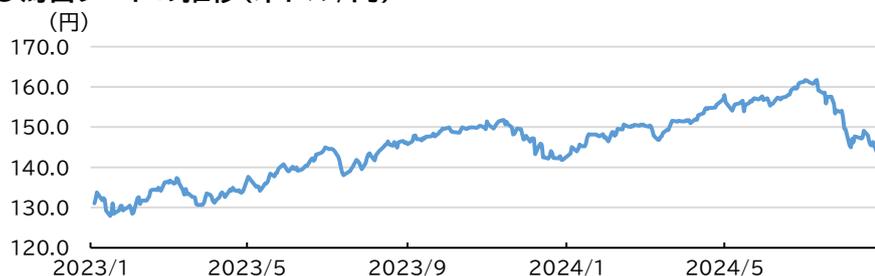
### <ご参考>

#### ●地域の代表的な株式指数の騰落率



※ 上記の指数は現地通貨ベースです。

#### ●為替レートの推移(米ドル/円)



※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。  
 ※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



## ●なかの世界成長ファンドに組み入れている上位20銘柄(2024年6月末現在)

No.	銘柄名	国	業種	組入比率
1	ASML HOLDING NV (ASMLホールディング)	オランダ	テクノロジー	5.5%
2	TAIWAN SEMICONDUCTOR (TSMC)	台湾	テクノロジー	3.8%
3	ELI LILLY & CO (イーライリリー)	米国	ヘルスケア	3.3%
4	LINDE PLC (リンデ)	英国	原材料	3.1%
5	NOVO NORDISK A/S (ノボ・ノルディスク)	デンマーク	ヘルスケア	3.0%
6	ESSILORLUXOTTICA (エシロールルックスオティカ)	フランス	ヘルスケア	2.9%
7	MICROSOFT CORP (マイクロソフト)	米国	テクノロジー	2.7%
8	EXPERIAN PLC (エクスペリアン)	英国	金融	2.5%
9	ALCON INC (アルコン)	スイス	ヘルスケア	2.5%
10	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE (LVMHモエヘネシー・ルイヴィトン)	フランス	一般消費財	2.3%
11	L'OREAL (ロレアル)	フランス	生活必需品	2.2%
12	ACCENTURE PLC (アクセンチュア)	米国	テクノロジー	2.0%
13	INTUIT INC (インテュイット)	米国	テクノロジー	1.7%
14	HDFC BANK LIMITED (HDFC銀行)	インド	金融	1.5%
15	SIKA AG (シーカ)	スイス	原材料	1.3%
16	LONZA GROUP AG (ロンザ)	スイス	ヘルスケア	1.3%
17	TENCENT HOLDINGS LTD (テンセント)	香港	通信	1.3%
18	SAMSUNG ELECTRONICS (サムスン電子)	韓国	テクノロジー	1.3%
19	VISA INC (VISA)	米国	金融	1.3%
20	JOHNSON & JOHNSON (ジョンソン&ジョンソン)	米国	ヘルスケア	1.2%

※ 上記はデータが入手できる2024年6月末現在の情報です。  
※ 種類株および重複上場している株式については合算して記載しております。  
※ 「国」は当社の判断で表示しています。  
※ 「業種」はBloombergによります。  
※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。  
※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



## ●各ファンドの組入上位5銘柄

## コムジエスト世界株式ファンド(適格機関投資家限定)

No.	銘柄名	国	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	マイクロソフト	アメリカ	情報技術	7.1%	0.7%
2	イーライリリー	アメリカ	ヘルスケア	5.8%	17.2%
3	ASMLホールディング	オランダ	情報技術	5.6%	-6.6%
4	台湾セミコンダクター(TSMC)	台湾	情報技術	4.9%	14.0%
5	リンデ	イギリス	素材	4.7%	10.2%

## コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド90(適格機関投資家限定)

No.	銘柄名	国	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	ノボ・ノルディスク	デンマーク	ヘルスケア	8.5%	1.5%
2	ASMLホールディング	オランダ	情報技術	7.5%	-6.6%
3	エシロールルックスオティカ	フランス	ヘルスケア	5.3%	4.3%
4	アクセンチュア	アイルランド	情報技術	4.2%	21.7%
5	アルコン	スイス	ヘルスケア	4.2%	2.4%

## アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド(適格機関投資家専用)

No.	銘柄名	国	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	台湾セミコンダクター	台湾	情報技術	8.4%	14.0%
2	サムスン電子	韓国	情報技術	6.0%	1.5%
3	テンセント・ホールディングス	中国	コミュニケーション・サービス	5.8%	6.2%
4	HDFC銀行	インド	金融	4.2%	6.9%
5	SKハイニックス	韓国	情報技術	3.2%	-8.1%

## ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAVーグローバル・インパクト・エクイティ・ファンド(クラスS、円建て)

No.	銘柄名	国	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	ELI LILLY & CO	アメリカ	ヘルスケア	3.5%	17.2%
2	LINDE PLC	アメリカ	素材	3.0%	10.2%
3	THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	アメリカ	ヘルスケア	2.8%	8.4%
4	ASML HOLDING NV	オランダ	情報技術	2.7%	-6.6%
5	UNITEDHEALTH GROUP INC	アメリカ	ヘルスケア	2.6%	19.7%

## アライアンス・バーンスタイン SICAVーグローバル・グロース・ポートフォリオ

No.	銘柄名	国	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	ASML Holding NV	アメリカ	情報技術	5.0%	-6.6%
2	Microsoft Corp.	アメリカ	情報技術	5.0%	0.7%
3	Amazon.com, Inc.	アメリカ	情報技術	4.8%	1.2%
4	Visa, Inc.	アメリカ	金融	4.1%	1.6%
5	S&P Global, Inc.	アメリカ	金融	3.5%	20.3%

※ 上記はデータが入手できる2024年7月31日現在の情報です。  
 ※ 組入比率は、各ファンドの純資産総額を100とした場合の比率です。  
 ※ 「過去3ヶ月リターン」は、現地通貨ベースで表示しています。  
 ※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。  
 ※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



## ～コラム～ AI技術をどう考えるのか？

AI技術に対する株式市場の反応は、ちょうど2000年のインターネット技術に対する反応と似ていると思います。2000年のインターネット革命は私たちの日々の生活を大きく変えました。電子メールと電話が主であった通信手段が、スマートフォンに置き換わったこともあり、SNSや動画などに手軽にアクセスできるようになりました。しかし、2000年当時の株価はバブルであり、その後大きく下落しインターネットバブルの崩壊と呼ばれました。

最近のAI技術も間違いなくIT技術のブレイクスルーであり、将来の私たちの生活を大きく変えるほどのインパクトを持つでしょう。しかし、技術的にはまだマネタイズできておらず(初期のインターネット技術もそうでした)、現在は研究開発やAIサーバー構築のための先行投資が続いている状態です。技術というのは、「凄い」だけでなく、「儲かる仕組み」が出来て初めて大きなうねりとなります。現在の株価は、GAFAの設備投資にNvidiaのGPU(とソフトウェア)という一つのパターンのみで出来ており、多様性がありません。

なかの世界成長ファンドはあまりAIや半導体関連の銘柄に投資していませんが、それはAIの革新性を信じていないからではなく、革新的な技術であっても利益を生むまでには山あり谷あり、だと考えているからです。先日的大幅なIT関連銘柄の下落時には幾つか新しいファンドに投資し、結果としてAI関連の銘柄が新規に幾つか入りました。このように、少しずつ機を見て長期投資を行ってゆきたいと考えています。(居林 通)

## ～新たに組み入れたファンドのご紹介～

### アライアンス・バーンスタイングローバル・グロース・ポートフォリオ



新たに組み入れたファンドのポートフォリオ責任者。ウインケルマン氏

アライアンス・バーンスタイン社が新たに獲得した運用チームが運用する、世界の成長株に厳選投資するファンドです。投資対象には新興国を含むことがあります。ポートフォリオに含まれる銘柄数は50-80社程度で、明らかな成長ストーリーと強い競争優位性を持つ銘柄を厳選しています。

時価総額的には大型株が多い傾向があり、5年以上の投資期間を念頭に置いて運用を行っています。運用哲学としては、明確な成長ストーリー、企業のクオリティ、株価のバリュエーションの3つの視点で投資に値する銘柄をチーム内で議論して選定することとなっています。なかのアセットの投資哲学に非常に良く似ており、今後とも運用チームとの対話を深めながら、当該ファンドの組み入れを増やしていこうと考えております。

### Thorsten Winkelmann

CIO, Portfolio Manager

16 Years with Team

27 Years in Industry

Location: Frankfurt



## ●運用チームから

氏名	役職	コメント
	代表取締役社長 最高投資責任者 (CIO)	なかのアセットは2024年9月1日で創業1周年です。昨年のこの日、創業メンバーで決起会をして、翌10月1日に行った兜町の事務所開きには、居林・秋元が加わっていました。1年前にはまだ運用会社のライセンスもなくて、ビジョンだけを語り合っていました。それから続々と仲間が集い、運用開始から4か月経った今では、20名の濃厚メンバーが揃って、とりわけ運用部門は8名の強力チームで日々精力的なリサーチに勤しんでいます。新NISA元年の現在はインデックスファンドが全盛で、当社は本格アクティブハウスとして言わば逆風下でスタートしました。アクティブ運用が真に評価を受けるまでには実績を示す時間が必要ですが、そこまではなかのアセットの企業理念と運用哲学、それに忠実な一貫した運用アプローチを、そして各メンバーがワクワク活動している姿を、将来成果に鑑みながら見てください。皆さんとワクワクを共有する運用会社に仕上げてまいります！
中野 晴啓		
	運用部長 兼 チーフポートフォリオ オマネジャー	運用チームの全員が揃って2か月が経過し、各々がリーダーシップをとり、互いをフォローし合うよい状況です。なかのアセットはワンチーム。互いを認め合う真のプロフェッショナル集団としてみなさまのために鋭意努力いたします。チーム運営の第1条第1項は「常にベストコンディションを保て」です。食べて勝つ。わたしたちの体は食物から作られます。無農薬玄米と自然農法の野菜と新鮮な青魚と有機納豆で調味料も自然由来にこだわり腸内環境を管理します。グラスフェッドの脱脂粉乳とグレインフェッドのそれとでは、ヤクルトIR曰く「シロタ菌の発酵スピードが全く違う」とのことです。ミルクも飲むなら低温殺菌のグラスフェッドです。もっとも健康的なものももっとも美味しい。基準高く生きるためのファンダメンタルズが食のクオリティの高さです。
山本 潤		
	運用副部長 兼 シニアポートフォリオ オマネジャー	職業柄、経営者の本をかなり読みます。米国を中心に海外の経営者の本と日本の経営者の本とを比べると、日本の経営者の本は心構えや人生訓にまで昇華した本が多いように思います。京セラの稲盛氏や、信越化学の金川氏、日本電産の永守氏などの本を読んで影響を受けているので、特にそう思うのでしょうか。最近、金川氏の常在戦場を読んで特にそう思いました。
居林 通		
	シニアポートフォリオ オマネジャー 兼 シニアアナリスト	8月5日は日本版ブラックマンデーとでもいうのでしょうか？売りが売りを呼ぶという言葉がぴったりでした。1987年夏、ボルカーから交代したグリーンSPANが米連銀議長に就任。いきなり9月に利上げを決めてしばらく、10月19日だけで、20%の暴落が発生しました。マジェランファンドで有名なピーター・リンチ氏の”著作””One up on Wall Street”のプロローグに、1年前の苦い思い出として描かれています。最後に「良い企業は生き残り、平凡な会社は失敗し、それぞれの投資家はそれなりの報いを受ける。良い会社をどうやって見分けるかということがキーポイントである。」としています。債券外回り営業だった私の思い出は、新聞株式欄が”ヤリ”という文字だらけになっていたことです。日本株がバブルに向かう上昇へ再始動するのは数か月後のことでした。
菅 淑郎		
	ポートフォリオオマネジャー 兼 シニアアナリスト	「世の中をより豊かにする企業にお金を融通する」。これが私自身のミッションです。社会の公器たる企業は、顧客、従業員、取引先企業をはじめ、地球環境を含めた世の中全てにとって、より良い存在であることが求められます。私はこうした責務を十分に果たし、世の中をより豊かにする企業・経営者にお金を託したいと思っています。一方、そのような志のない企業に対しては、市場機能を通じて退出を促すことで、結果として「世の中をより豊かにする企業」で世界が彩られていくと信じています。そして、市場の新陳代謝に規律をもたらす存在が私たち投資家です。私たち自身もまだまだ未熟ですが、企業の志に真摯に向き合い、基準を高く持って業務を遂行してまいります。
佐藤 栄二		

次のページへ続く →



## ●運用チームから

氏名	役職	コメント
	シニアアナリスト	暑い日が続いてますね。皆様いかがお過ごしでしょうか。 8月の末に関西出張に行ってきました。2日間で京都、大阪、神戸の企業を6社回るといややハードなスケジュールでしたが、島津製作所様には京都本社にあるサイエンスプラザで実機を見せていただいたり、対面取材ならではの収穫がたくさんありました。また、改めて皆様にも報告させていただきます。
大月 天道		
	アナリスト	皆さま、いつもありがとうございます。私は8月にお盆休みを頂き、家族とそわそわした一週間を過ごしました。皆さまの中には南海トラフ地震注意報で、不安な一週間を過ごされた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。実家は太平洋に面した海岸から徒歩5分の町にあり、ハザードマップによると南海トラフ地震発生後8分で10m弱の津波が押し寄せ、流されてしまうこととなります。幸い帰省中だったことで、家族の避難準備・経路、家具の固定等を私自身が改めて見直すことができました。現在も地震の脅威は変わらず、恐怖に慄く方、ご家族と離れて暮らす環境で心配される方などが多くいらっしゃることでしょう。なんてことない日常がいかに尊い存在であるのか、身に染みる思いです。私は震災後に家族をサポートできるよう、資産形成を頑張ろうと思います。
谷 亜矢野		
	アナリスト	自己紹介です。私は大学院を修了して、この4月より働き始めました。在学中に、上におります山本さんや大月さん(社内ではさん付けで呼んでおります)のいた運用会社でインターン経験があり、本ファンドの運用哲学に共感しての入社となります。 さて、紙幅が余りましたので一つ皆様にご提案です。皆様とのコミュニケーションを大切にしたいと考えているため、マンスリーレポートの構成や文面は、毎月ゼロから時間をかけ新たに作成し直しております。「どんな人たちが何のためにどんな仕事をしているんだろう??」という皆さまの疑問に、毎号素直に誠実に一生懸命答えようとしております。手前味噌で恐縮ですが、弊社メンバーが一丸となりワンチームで書いておりますこのレポートを、過去号からぜひさかのぼってお読みください。
関口 耕大		

今回から運用チームのコメントは各自が自由に書くことになりました。個性豊かなメンバーが感じたことや思ったこと、皆さまに伝えたいことを綴っています。その他、今回のレポートでは、なかの世界成長ファンドに6月末現在組み入れられている4ファンドの組入銘柄を集計して、上位20位までを記載しております。こちらもぜひご覧ください。  
(秋元 祐毅)

follow me!

各公式SNSで情報を発信しています！



YouTube

note





## ●8月25日マンスリー運用報告会の様子



8月25日(日)は毎月恒例のマンスリー運用報告会を行いました！  
 今回は代表の中野も登壇し満員御礼の中、当社2ファンドが運用開始して約4ヶ月の状況をご報告しました。2名のファンドマネージャーや各アナリストからご報告を行い、会場のお客さまからのご質問にも丁寧にお答えした120分でした。  
 次回は9月14日(土)の東京開催です！その他9月の通常セミナーは富山、宇都宮、沖縄です！  
 お近くの方はぜひお越しください！

セミナー情報はこちら！→

<https://nakano-am.co.jp/seminar/>



～基準価額とは？「額」より「率」が大切！～

みなさま、こんにちは✧  
今回はマンスリーレポートに出てくる「基準価額」について解説します。

基準価額とは、投資信託の1口または1万口当たりの価格のことです。  
一般的に新聞等に掲載されている基準価額は1万口単位になっているものがほとんど(当社のファンドも1万口あたりです)で、毎営業日取引終了後に1度だけ計算されます。そのため購入や売却の申し込み時は基準価額がわからないようになっています。これは「ブラインド方式」と呼ばれ、すでにその投資信託を保有している投資家との公平性を確保するために行われています。  
なかのアセットのHP上でも毎日、前日の基準価額が公開されています。

今回はその基準価額について詳しく解説します。  
基準価額の計算式  
基準価額とは、投資信託の値段を口数単位で示したものです。  
基準価額は毎日計算されます。  
投資信託の購入や売却は基準価額をもとに計算をされます…

続きはnoteで！→

<https://note.com/nakanoam/n/nb6b9f4b43581>



※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



## 【CIO探訪記】

### ～当社CIO(最高投資責任者)中野の見聞録～

8/1 コモンズ投信さんの新オフィスにお邪魔してきました。

青山一丁目の最上階フロアからの眺めは最高でした！眼下に広がる景色の中には神宮球場もあって試合のある日は花火も打ち上がるそうです。

あいにく伊井社長はご不在でしたが、渋澤会長と本格的なアクティブ運用の普及を目指す同志として話が盛り上がりました。

渋澤会長は昨年中野の退任時にいち早く「励ます会」を開催くださって、それ以来の久しぶりのご対面。

ご存じの方も多いかと思いますが渋澤会長は日本資本主義の父と言われ日本社会の礎を築き、新一万円札の肖像となった渋沢栄一の玄孫にあたる方です。



## ～編集後記～

マンスリーレポートではなるべく多くの情報をなるべく読みやすくなるように、弊社メンバーが一丸となりワンチームで作っています。毎月初旬には編集会議を行い、次回掲載するレポートの内容を決め、月末になると一か月を振り返ってお客様に伝えなければならないことの整理を行い、レイアウトやコメントの作成をしています。

当社は透明性を大切にしていますので、どんなことが書いてあったらお客様に喜んでいただけるのだろうかと常に考えを巡らせています。

第一号のレポートからみて、毎月内容が変化していることに気付いていただけるかと思います。アナリストの関口もコメントしていますが、ぜひ過去にさかのぼってお読みください。(秋元 祐毅)



## ●ファンドの目的・特色

### ファンドの目的

主として、内外の投資信託への投資を通じて、世界の成長企業に投資を行い、信託財産の長期的な成長を図ることを目的に運用を行います。

### ファンドの特色

- 1 世界の株式に投資することで、日本以外の魅力的な投資機会も捉えることを目指します。
- 2 長期の資産形成を目指して、長期視点で世界の成長企業(クオリティ・グロース企業)の株式に投資を行います。
- 3 多面的な調査を行った上で、長期的に成長が期待される企業に投資をするアクティブファンドに、割安と考えられるタイミングで投資を行うことを目指します。
- 4 原則として、為替ヘッジは行いません。

### ファンドの仕組み

当ファンドは、主にマザーファンドに投資するファミリーファンド方式で運用を行います。

また、マザーファンドを通じて複数の投資信託証券(投資対象ファンド)に投資するファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。

※ マザーファンドを通じて内外の投資対象ファンドに投資を行い、実質的に世界の株式等に投資を行います。

### 分配方針

毎決算時(原則として毎年4月24日。ただし、休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

- ・ 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
  - ・ 分配金額は委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
  - ・ 留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。
- ※ 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

## ●投資リスク

### 基準価額の変動要因

- ・ ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
- ・ **信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆さまに帰属します。**
- ・ 投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの主なリスクは以下の通りです。

#### ● 価格変動リスク

株式の価格は発行者の業績、経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。また、債券の価格は市場金利や信用度等の変動を受けて変動します。ファンドはその影響を受け、組入株式や組入債券の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

#### ● 信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

#### ● 為替変動リスク

為替相場は、各国の経済状況、政治情勢等の様々な要因により変動します。投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。

#### ● カントリーリスク

主要投資対象ファンドの投資対象国において、政治・経済情勢の変化、外国為替規制、資本規制、税制の変更等の事態が生じた場合、またはそれが予想される場合には、方針に沿った運用が困難になり、基準価額の下落要因となる可能性があります。

#### ● 流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、当ファンドはそのリスクを伴います。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。



### 収益分配金に関する留意点

- ・ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- ・ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ・ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

### その他の留意点

- ・ ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ・ ファンドは、大量の解約が発生し、短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。
- ・ 一般的に、時価総額が小さい、取引量が少ない等流動性が低い市場、あるいは取引規制等の理由から流動性が低下している市場で有価証券等を売買する場合、市場の実勢と大きく乖離した水準で取引されることがあり、その結果、基準価額の下落の要因となる場合があります。

### リスクの管理体制

委託会社では、リスク管理規程や運用モニタリング規程等の社内規程において、リスク管理の対象となるリスク、リスク管理体制および管理方法等が定められています。

- ・ 委託会社は受託者責任を常に念頭に置いたうえで、投資信託の「投資リスク」を適切に管理するため、①運用部門において、投資信託の各種リスクを把握しつつ、投資信託のコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うこと、②運用部門から独立した管理部署によりモニタリング等のリスク管理を行うこと、を基本の考え方として、リスク管理体制を構築しています。
- ・ 委託会社では、流動性リスク管理に関して、投資信託の組入資産の流動性リスクのモニタリング等を実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証等を行います。委託会社の取締役会等では、流動性リスク管理を含めた実効的なリスク管理体制の整備、運用について監督します。

## ● 手続・手数料等

### お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位とします。 ※ 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額(1万口当たり)とします。
換金単位	販売会社が定める単位とします。 ※ 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。
信託期間	無期限(2024年4月25日設定)
繰上償還	委託会社は次のいずれかの場合には、繰上償還することがあります。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 純資産総額が10億円を下回ることとなった場合。</li><li>・ 信託契約を解約することが投資者(受益者)のため有利であると認めるとき。</li><li>・ やむを得ない事情が発生したとき。</li></ul>
決算日	原則として、毎年4月24日とします。(休業日の場合は翌営業日) 第1決算日は2025年4月24日とします。
収益分配	原則として、年1回の決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。 ※ 販売会社との契約によっては再投資が可能です。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。</li><li>・ 当ファンドは、NISAの「成長投資枠」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。</li><li>・ 配当控除の適用はありません。</li><li>・ 益金不算入制度は適用されません。</li></ul>



## ファンドの費用・税金

### ●ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- ・ 購入時手数料 **ありません。**
- ・ 信託財産留保額 **ありません。**

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	当ファンド	信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、ファンドの純資産総額に対して、 <b>年率0.605%(税抜0.55%)</b> を乗じて得た額とします。運用管理費用は、日々計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。
	投資対象ファンド	<b>年率0.4%～0.9%程度(税抜)</b> ※運用・管理報酬等の料率は投資対象ファンドにより異なります。
	実質的な負担	<b>年率1.3%±0.2%程度(税込)</b> ※投資対象ファンドの組入比率の変更などにより変動します。
その他の費用・手数料	監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等。監査費用を除くその他の費用・手数料は、その都度信託財産から支払われます。 ※これらの費用・手数料等については運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。	

※ 投資者の皆様にご負担いただく手数料等の合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することはできません。

### ●税金

税金は表に記載の時期に適用されます。

以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税および地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%
換金(解約)時 および償還時	所得税および地方税	譲渡所得として課税 換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%

※ 少額投資非課税制度「愛称:NISA(ニーサ)」をご利用の場合

NISAは、少額上場株式等に関する非課税制度です。

NISAをご利用の場合、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした商品を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※ 法人の場合は上記と異なります。

※ 上記は、2024年2月末現在のものです。税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## ●委託会社およびファンドの関係法人

委託会社 ファンドの運用の指図を行う者	なかのアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3406号 加入協会: 一般社団法人投資信託協会 ホームページアドレス: <a href="https://nakano-am.co.jp/">https://nakano-am.co.jp/</a>
受託会社 ファンドの財産の保管および管理を行う者	野村信託銀行株式会社

販売会社 ファンドの募集の取扱い等を行う者	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
第一生命保険株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第657号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○		○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
株式会社北國銀行	登録金融機関 北陸財務局長(登金)第5号	○		○	

## ●当資料をご利用にあたっての注意事項等

- ・ 当資料はなかのアセットマネジメント株式会社が作成した資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。
- ・ ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されていないものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- ・ 信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆さまに帰属します。
- ・ 当資料は、なかのアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- ・ 投資信託は預金または保険契約ではないため、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関で購入いただいた場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
- ・ 本資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。